力価試験
寒天平板　モネンシンナトリウム製造用原体の規定を準用する。
試験菌　モネンシンナトリウム製造用原体の規定を準用する。
常用標準希釈液の調製　モネンシンナトリウム製造用原体の規定を準用する。
試料溶液の調製　本品の表示力価に従い、試験を行うために必要な量を有効数字３桁まで量り、その数値を記録し、１mL当たりの濃度が１～２mg（力価）となるよう、メタノールを全量ピペットを用いて加え、かき混ぜ、又は振り混ぜた後、ろ過又は遠心分離し、そのろ液又は上澄液を試料原液とする。試験を行うために必要な量の試料原液を全量ピペットを用いて量り、以下モネンシンナトリウム製造用原体の規定を準用する。
㈠　製造の方法の基準
モネンシンナトリウム製造用原体に、賦形物質を混和し、必要に応じて造粒して製造すること。
㈡　保存の方法の基準
モネンシンナトリウム製造用原体の保存の方法の基準を準用する。
㈢　表示の基準
本品の直接の容器又は直接の被包に、次の文字を記載すること。
有効期間　製造の翌月から２年
使用上の注意　この飼料添加物は、鶏又は牛に過剰投与した場合発育障害がおこるので、定められた添加量を厳守するとともに、均一に配合するよう注意すること。

(120)　ラサロシドナトリウム
ア　製造用原体
㈠　成分規格
力価　本品は、ラサロシドのナトリウム塩であり、力価試験を行うとき、１mg中に800μg（力価）以上を含む。
物理的・化学的性質
①　本品は、白色～帯褐白色の粉末で、特異な臭いを有する。
②　本品は、アセトン、エタノール、クロロホルム、酢酸エチル又はメタノールに溶けにくく、水にほとんど溶けない。
確認試験
①　本品の無水エタノール溶液（１→500）10mLに塩化第二鉄の無水エタノール溶液（１→50）0.5mLを加え、振り混ぜるとき、溶液は、赤紫色を呈する。
②　本品75mg（74.5～75.4mg）を量り、硫酸・無水エタノール混液（３：1,000）を加えて溶かし、50mLとする。この溶液５mLを量り、硫酸・無水エタノール混液（３：1,000）を加えて100mLとした溶液につき、吸収スペクトルを測定するとき、波長245～249nm及び315～319nmに吸収の極大を示し、波長269～273nmに吸収の極小を示す。
③　本品の酢酸エチル溶液（１→200）に紫外線（主波長365nm）を照射するとき、青色の蛍光を発する。
④　本品３g（2.5～3.4g）を灰化し、水10mLを加え、振り混ぜた後、ろ過して得られた溶液は、ナトリウム塩の定性反応を呈する。
純度試験
①　重金属　本品1.0g（0.95～1.04g）を量り、重金属試験法第２法により試料溶液を調製し、鉛標準液2.0mLを用いて比較液を調製して重金属の試験を行うとき、試料溶液の呈する色は、比較液の呈する色より濃くてはならない（20μg/g以下）。
②　ヒ素　本品0.5g（0.45～0.54g）を量り、ヒ素試験法第３法により試料溶液を調製し、装置Aを用いる方法によりヒ素の試験を行うとき、吸収液の色は、標準色より濃くてはならない（４μg/g以下）。
乾燥減量　3.0%以下（１g，0.67kPa以下，60℃，３時間）
強熱残分　10.0～15.0%（１g）
力価試験
寒天平板　基層用培地及び種層用培地は、それぞれ14号培地を用いる。
試験菌　*Bacillus subtilis* ATCC 6633を用いる。
常用標準希釈液の調製　試験を行うために必要な量の常用標準品を有効数字３桁まで量り、その数値を記録し、メタノールを加えて溶かし、１mL当たりの濃度が約１mg(力価）となるよう、更にメタノールを加え、正確に一定容量とし、希釈原液とする。試験を行うために必要な量の希釈原液を全量ピペットを用いて量り、１mL当たりの濃度が40μg（力価）及び10μg（力価)、メタノールの濃度がそれぞれ10%となるよう、水及びメタノールを加え、正確に希釈し、高濃度常用標準希釈液及び低濃度常用標準希釈液を調製する。
試料溶液の調製　試験を行うために必要な量の本品を有効数字３桁まで量り、その数値を記録し、メタノールを加えて溶かし、１mL当たりの濃度（推定値）が約１mg（力価）となるよう、更にメタノールを加え、正確に一定容量とし、試料原液とする。試験を行うために必要な量の試料原液を全量ピペットを用いて量り、１mL当たりの濃度（推定値）が40μg（力価）及び10μg（力価)、メタノールの濃度がそれぞれ10%となるよう、水及びメタノールを加え、正確に希釈し、高濃度試料溶液及び低濃度試料溶液を調製する。
㈡　製造の方法の基準
*Streptomyces lasaliensis*のラサロシド生産菌株を好気的に培養し、培養を終了した後、培養液に少量のろ過助剤を加え、固形分をろ取する。固形分中のラサロシドを有機溶媒で抽出し、抽出液を濃縮した後、異なる有機溶媒に溶かし、洗浄した後、アルカリ条件下でナトリウム塩として晶出ろ過し、得られた結晶を水洗した後、乾燥して製造すること。
㈢　保存の方法の基準
密閉容器に保存すること。
イ　製剤
㈠　成分規格
本品は、ラサロシドナトリウム製造用原体に、賦形物質を混和した粉末又は粒子である。
力価　本品は、１mgにつき、150μg（力価）以下であり、力価試験を行うとき、表示力価の85～125%を含む。
物理的・化学的性質
①　本品は、淡褐色～褐色の粉末又は粒子で、特異な臭いを有する。
②　本品は、2.00mmの標準網ふるいを通過する。
③　本品は、発かびを認めない。
確認試験
①　本品の表示力価に従い、ラサロシドナトリウム約100mg（力価）を含む量を量り、無水エタノール50mLを加え、10分間よく振り混ぜた後、ろ過する。ろ液10mLに塩化第二鉄の無水エタノール溶液（１→50）１滴を加え、振り混ぜるとき、溶液は、赤紫色を呈する。
②　本品の表示力価に従い、ラサロシドナトリウム約20mg（力価）を含む量を量り、メタノール10mLを加え、10分間よく振り混ぜた後、ろ過し、そのろ液を試料溶液とする。別に、ラサロシドナトリウム約20mg（力価）を含む量の常用標準ラサロシドを量り、メタノール10mLを加えて溶かし、標準液とする。試料溶液及び標準液10μLずつを蛍光剤入り薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に、クロロホルム・メタノール混液（９：１）を展開溶媒として約10cm展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線（主波長254nm）を照射するとき、試料溶液及び標準液から得たスポットは、暗青色を呈し、これらのRf値は等しい。